





コンプライアンス コンサルティング・サービス OSSライセンス・

http://jpn.nec.com/oss/osslc/

Q7. GPL を契約と考えてはいけない理由で妥当でないの

Linux, Apache HTTPD, Java 8, qmail, SQLite 21. 以下のうち、(oss ライセンスがある)OSS はいくつか。

T. 40

7.37

22. 最初のライセンスの出現順が正しいのはどれか。

JSS ライセンスの理解を確認しよう v2(上級者編)

イ. 再頒布するとソース開示義務が発生する契約と考え ると、すでに著作権侵害になるから

ア. GPL は守る必要は無いから

ウ. GPL を作成した人自身が契約法に基づかせない正当

な理由があると述べているから

エ. ライセンスの本来の意味は一方的な許諾であるから

EPL→GPL→BSDL(Berkeley Software Distribution License)

BSDL→EPL→GPL(GNU General Public License)

GPL→BSDL→EPL(Eclipse Public License)

28. LGPLのライブラリをリンクしたアプリケーション は、ライブラリと共に頒布する場合の条件の一つに、

LGPLv2 第6条に記載されている、その目的は何か アプリのリバースエンジニアリングの許諾がある。

ア. ソースコードを開示しない商用アプリケーションで の利用を禁止するため

イ. リバースエンジニアリングを禁止するプログラム使 用許諾契約書に反対するため

24. OSS をどうするとき、ライセンス条件を満たさなけ

れば、著作権侵害となるか。

公開 Web サイトからダウンロードするとき

商用の開発プログラムとリンクするとき

プログラムを実行するとき

自己の Web サイトに公開するとき

出版社やレコード会社の権利を保護すること

文化の発展に寄与するこ

23. 著作権法第一条 この法律の目的は何か。

BSDL→GPL→EPL

文化的所産の公正な利用を推進するこ。

エ. 著作者の権利を保護すること

ウ. 競合製品を生みやすくし、自由な競争を促進するた

エ. 顧客自身の利用のためのライブラリの改変を許可(またそのような改変をデバッグするため

コピーレフトの説明として
母当なのは
どれか。

ア. ソース開示を条件付けるため著作権を行使する手法

25. GNUプロジェクト(http://www.gnu.org/gnu/thegnuproject.html)

ジェクトを始めたきっかけとなったプログラムは何か。

によると、リチャード・ストールマン氏が GNU プロ

イ. リチャード・ストールマン氏が考案した造語 ウ. 著作権(コピーライト)に反対する意味

エ. 著作権を放棄し自由を守る概念

を改造して結合したプログラムを開発した場合、無料 でもソースコードを公開してもパッケージソフトとし て販売できない。その理由はどれか BSD ライセンスでは最新の改変されたソースコードを

ア. GPL はいかなる条件でも販売を禁止しているため

入手し、さらに改変を行うことができないことがある。

)6. ソースコードが公開されていれば改変できるが

ネットワークドライバ I X Window System

プリンタドライバ

LISP 処理系

GNU GPL を考案したきっかけとなったそのプログラ

ウ. ソース開示必須の OSS と必須ではない OSS とでは イ.何をしても著作権侵害になるため

GPL が Apache との結合を禁止しているため 思想的に矛盾するため

✓. squid

NEC Corporation 2017

http://jpn.nec.com/oss/osslc/